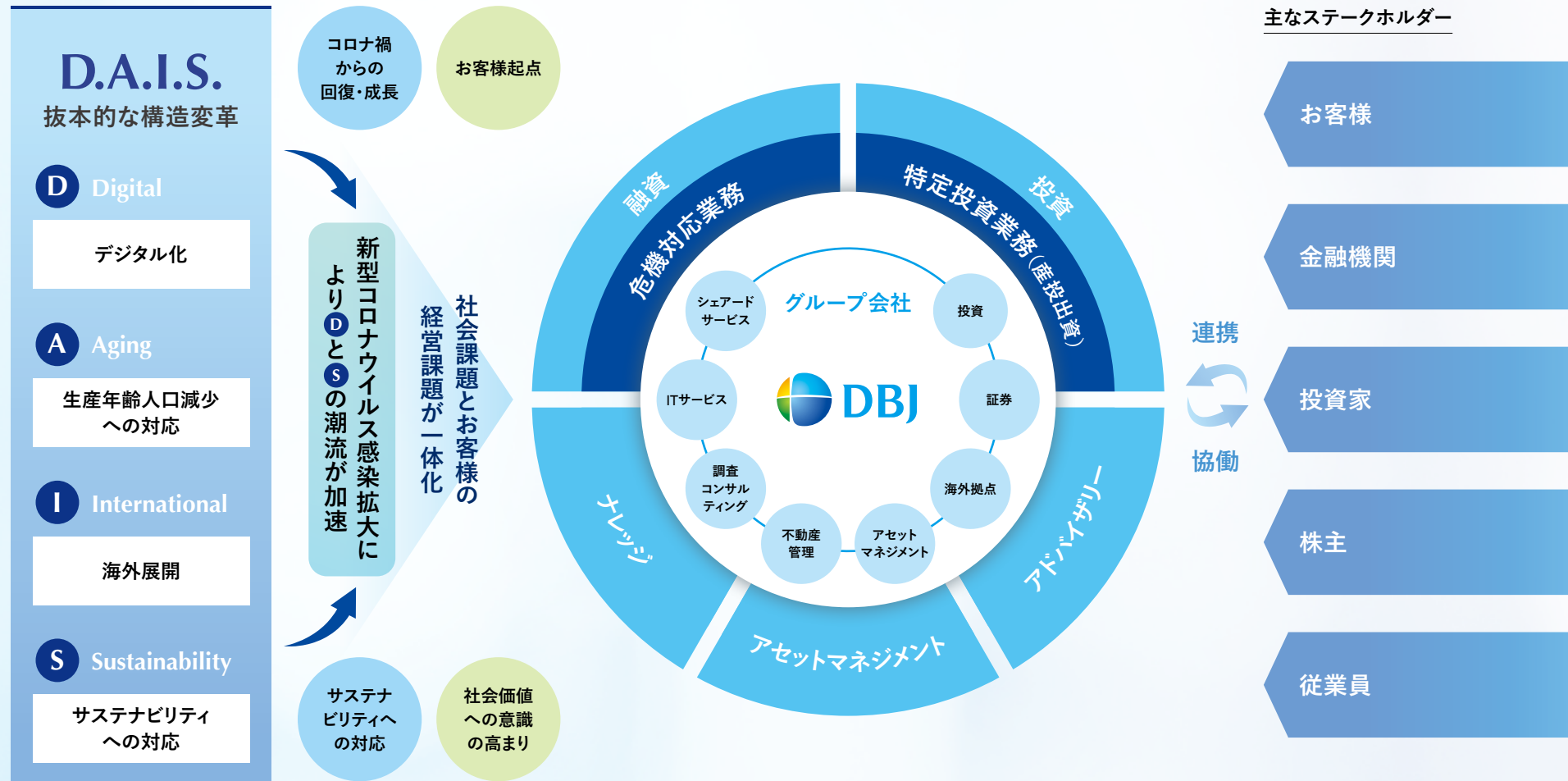


## 連携・協働による金融市場の活性化・安定化

様々なリスクに対し適切に対応する能力を磨き、他の金融機関やお客様、投資家の皆様との連携・協働を重視し適切なパートナーシップを組むことにより特色あるソリューションを提供し、金融市場の活性化や安定化、ひいては日本と世界の持続的発展に貢献します。





常にお客様起点に立った対話を重視し、投融資からナレッジまで多様なニーズにあわせたソリューションを提供することで、お客様の持続的な成長を支援しています。



地域や海外の金融機関を含め、様々な金融機関との共同ファンド組成や相互協定締結など、協働案件の発掘やノウハウシェア等の連携を促進しています。



DBJグループの企業理念や業務内容について、投資家の皆様にご理解いただき、共感していただくことが重要と考え、投融資事例の紹介を含めたIR活動を積極的に行っています。



多角的な視点から建設的対話を深め、お客様及び社会の課題解決を通じた、日本と世界の持続的発展への貢献につなげていきます。



刻々と変化する時代のニーズに対応し、絶えず新たな課題に挑戦していくため、「4つのDNA」を基盤に一人ひとりの継続な成長を追求しています。

### ■ 資金の調達と運用

国内外の機関投資家や金融機関の皆様からの調達や運用受託といった様々な形で資金を受け入れ、国内外の産業・インフラ分野のお客様に対してリスクマネーを供給します。

### ■ ナレッジの提供

産業・インフラ分野における経験に裏づけられた調査や審査、リスク分析やストラクチャリングなど、ナレッジ面での貢献をあわせて付加価値を創造します。

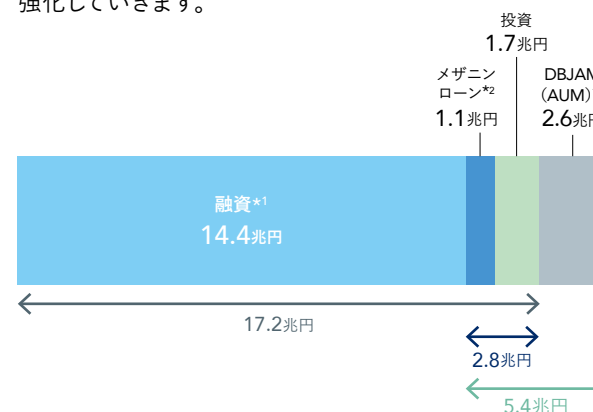
### ■ 危機対応業務及び特定投資業務

株式会社日本政策投資銀行法に定められた業務であり、経済・社会市場が内包する不安定性に対するスタビライザーとしてのDBJグループを特徴づける業務として、引き続き適切な運営を行います。

## リスクマネー供給について

DBJグループの投融資残高(約17.2兆円)のうち、有事における危機対応融資(□ P44-45)、案件のリスク特性に応じたプロジェクトファイナンス等の融資業務(約14.4兆円)に加え、投資・メザニンローン等のリスクマネー供給業務(約2.8兆円)を行うなど、特定投資業務(□ P42-43)を活用しつつ多様な資金ニーズに対応しています。

また、地域金融機関など投資家のお客様の資金運用ニーズに応えるため、DBJアセットマネジメント(DBJAM)にて約2.6兆円の資金をお預かりし、グループの強みを活かし、特色ある資産を中心に資産運用業務を行っています。DBJAMの預かり資産をあわせ、DBJグループ全体では、約5.4兆円のリスクマネーを取り扱っており、今後もお客様の多様なニーズに応えるべく、リスクマネー供給業務を強化していきます。



\*1 危機対応案件、ストラクチャードファイナンス案件、アセットファイナンス案件を含む  
 \*2 メザニンローンのうち危機対応案件、ストラクチャードファイナンス案件、アセットファイナンス案件との重複分を控除

\*3 DBJAMの預かり資産残高(AUM: Asset Under Management)からDBJからの預かり資産相当分を控除

(2023年3月末時点)